

Jøtul F 200/F 205

Jøtul F 200/F 205

ヨツール機種別取扱説明書



F200-Classico



F205-Modern

目次

1. 正しく安全にお使いいただくために
2. 製品仕様
3. 薪について
4. 各部操作方法
 - ・ フロントドアの開閉
 - ・ 燃焼調整
 - ・ 灰受け皿の取り出し
5. メンテナンスについて
 - ・ 扉のガスケットの取替え
 - ・ ガラスガスケットの取替え
 - ・ ガラスのお手入れ
 - ・ バーンプレート・バツフルのお手入れ
6. 参考図
7. パーツリスト

1. 正しく安全にお使いいただくために

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管して下さい。

- ・ 赤いコーションプレートと保証書は大切に保管して下さい。ヨツールクオリティーシステムのサービスやメンテナンスを受ける際にご提示いただく場合があります。
- ・ 本体及び煙突は高温となります。直接手で触れないようにし、扱う際は必ず耐火製のグローブを着用して下さい。
- ・ 正しく使用されない場合、火災事故や火傷や死亡事故につながる場合があります。
- ・ 使用時に薪がはぜる(火の粉が飛ぶ)ことがあります。必ず本体扉を閉めてお使い下さい。
- ・ 安全にお使いいただくために、定期的なメンテナンスを行って下さい。
- ・ ヨツールの製品は、生産物賠償責任制度に加入しています。

2. 製品仕様

製品名	Jøtul F 200 / F 205
本体寸法	F200:幅 561×奥行 472×高さ 755 F205:幅 521×奥行 472×高さ 755
重量	138kg
最小出力	4.0kW(3,440kcal/h)
定格出力	6.5kW(5,590kcal/h)
最大出力	8.5kW(7,310kcal/h)
最大/推奨薪長	40cm／20-30cm
暖房面積	122 m ² (37 坪)
適切な薪量	1.8kg/h(定格出力より算定) <T4>
燃焼方式	クリーンバーン(2次燃焼方式)
煙突径	150mm
煙突方向	上・後
本体カラー	ブラックペイント
試験データ EN13240	
燃焼効率	86% 6.5 kW
推奨ドラフト値	16-18 Pa
CO at 13%O ₂	0.05%／596mg/N m ³
NO _x at 13%O ₂	106 mg/N m ³
OGC at 13%O ₂	43 mg/N m ³
Dust at 13%O ₂	12 mg/N m ³
空気消費量	15.1 m ³ /h

<T4>ヨツール・オーナーズ・トレーニングチェック項目です。薪を入れすぎた状態で使用すると過燃焼になり本体を破損する場合があります。機種により、適切な薪の量が示されています。

<注意>薪の投入について 薪の投入の場合、2次燃焼空気吹出口を薪で妨げないで下さい。

3. 薪について

・最適なサイズの薪を使用する事で、乾燥しやすく、燃料として理想的にご使用いただく事が出来ます。少なくとも 2種類の薪を用意しましょう。

・ヨツールが推奨する薪

<焚き付けの薪>

・長さ:20～30cm／太さ:5cm／投入量:5～8 本

<通常使用時の薪>

・長さ:19～25cm／太さ:4～7cm

4. 各部操作方法

・ フロントドアの開閉

フロントドアハンドルを 90 度回転させ扉を開けます。閉めるときは扉を押しながらしっかりと閉めます。(Fig. A)

また、フロントドアは 90° 以上、開かないでください。

・ 燃焼調整レバー(兼焚き付け専用レバー)

焚き始めは本体中央のレバーを全開の位置に右へスライド(①)し、空気を流入してください。**投入した薪全体に炎がいきわたったら**レバーを中央にスライド(②)し、運転をしてください。更にレバーを左にスライド(③)(全閉)すると空気の流入が少なくなります。(Fig. B)

・ 灰受け皿の取り出し

炉内に溜まった灰は炉床の穴より灰受け皿へ落としてください(①)。耐火手袋でグレートを持ち上げ、灰受け皿を引き出します(②)。(Fig. C)

<注意>

本体が完全に冷めたことを確認の上、灰受け皿を取り出して下さい。

5. メンテナンスについて

定期的なメンテナンスの際に、消耗品の交換をしましょう。

・ 扉のガスケットの取り替え

扉の周囲につけて気密性を保つガスケットは、使用に伴って消耗してきます。扉のガタつきや空気漏れ、ガスケットそのものに「へたり」が見られたら交換時期です。

(Fig. D)

- ① ガスケットをはがして、溝にこびりついている耐火セメントをドライバーやワイヤーブラシで取り除きます。
- ② ガスケット専用の接着剤を溝に薄く塗布します。
- ③ 新しいガスケットを、隙間なく押し込みます。常温で 3 時間以上乾燥させます。

・ ガラスのお手入れ

製品にはエアウォッシュシステムが装備されています。本体上部からガラスの内側に沿って空気が流れます。ある程度のススは煙突のドラフトや燃焼レバーの調整具合によってガラスに付着しますが、燃焼調整レバーが開いてい

る時や炉内で炎が活発に燃えている時に消散します。

通常のクリーニングはペーパータオルをお湯で濡らし灰を加えたものでガラスをこすり水できれいにしその後乾かしてください。落ちにくいススや汚れは、専用のガラスクリーナー等を塗布し、乾いた布等できれいに取り除いて下さい。また、ガラスにヒビや割れ等が生じた場合は、直ちに使用を中止して、新しいものと交換して下さい。

・ バーンプレート、バッフルプレートのお手入れ

プレート全体にクレオソート等の汚れが付きますので、気になる場合はワイヤーブラシ(バッフルプレートはバーミキュライト素材でキズの原因となる為、柔らかい素材のブラシ)をかけて汚れを取り除いて下さい。ヒビ割れ、変形が生じた場合は、直ちに使用を中止して新しいものと交換して下さい。そのまま使い続けると、暖炉本体の寿命を縮めます。

<注意>

- ・ 煙突掃除は、掃除ブラシがバッフルプレートを破損させない様に、バッフルプレートを外してから行ってください。

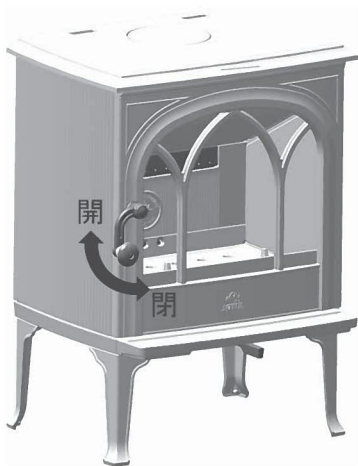


Fig. A

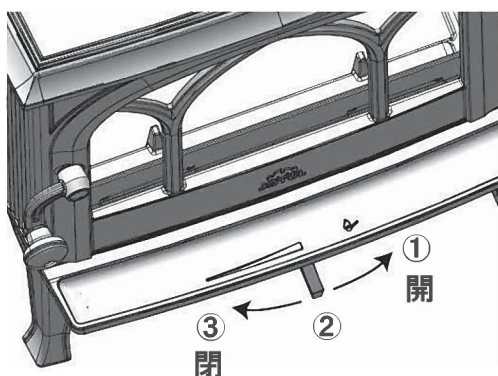


Fig. B

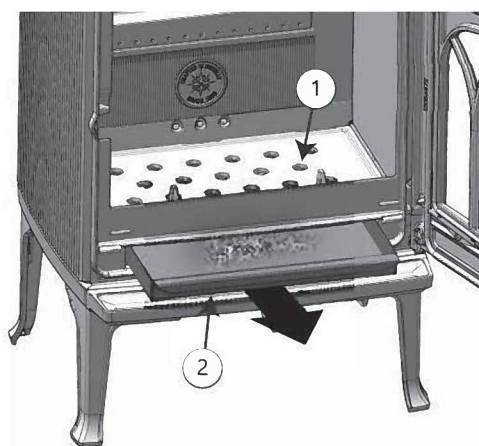


Fig. C

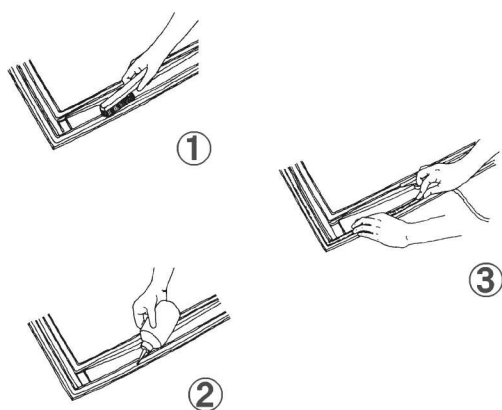
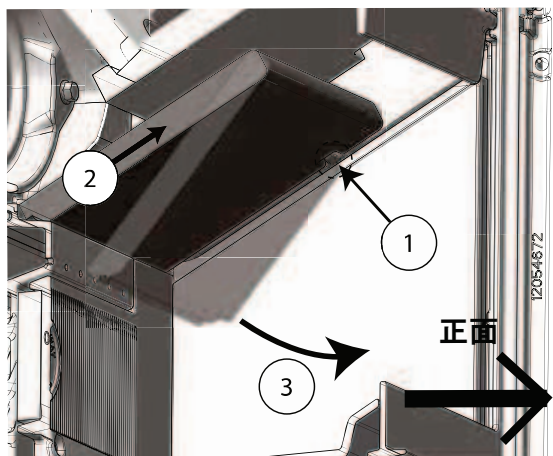


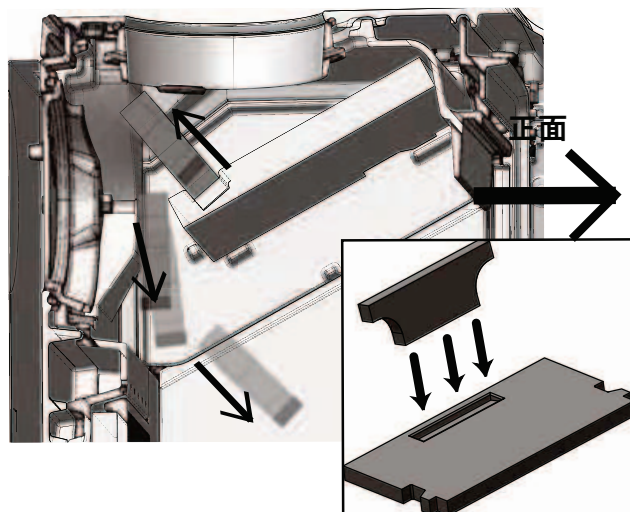
Fig. D

ヨツール F 200/205内部部材着脱方法 ※着脱の際は部品破損等が無いように十分注意し作業を行ってください

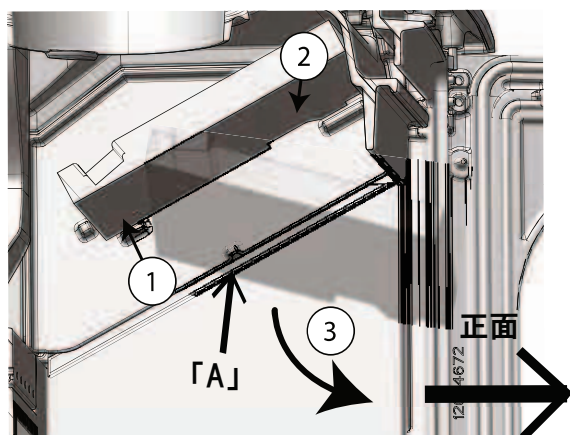
1、バッフルプレートロアを①から順番に矢印の方向へ外します



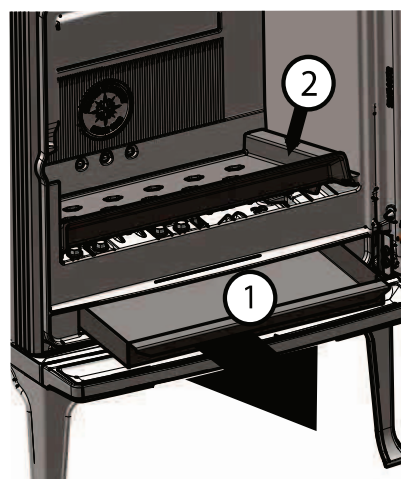
2、エグゾーストディフレクターアッパーを炉の奥で持上げ、下にスライドし外します



3、エグゾーストディフレクターロアの①部を持上げ、②を下げてます。下げる途中に②の切込部と「A」の突起をかわして、③の方へ外します



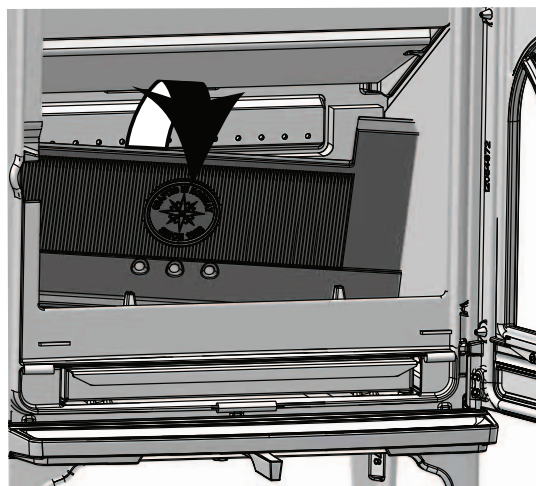
4、アッシュパンとインナーボトムを①から順番に外します



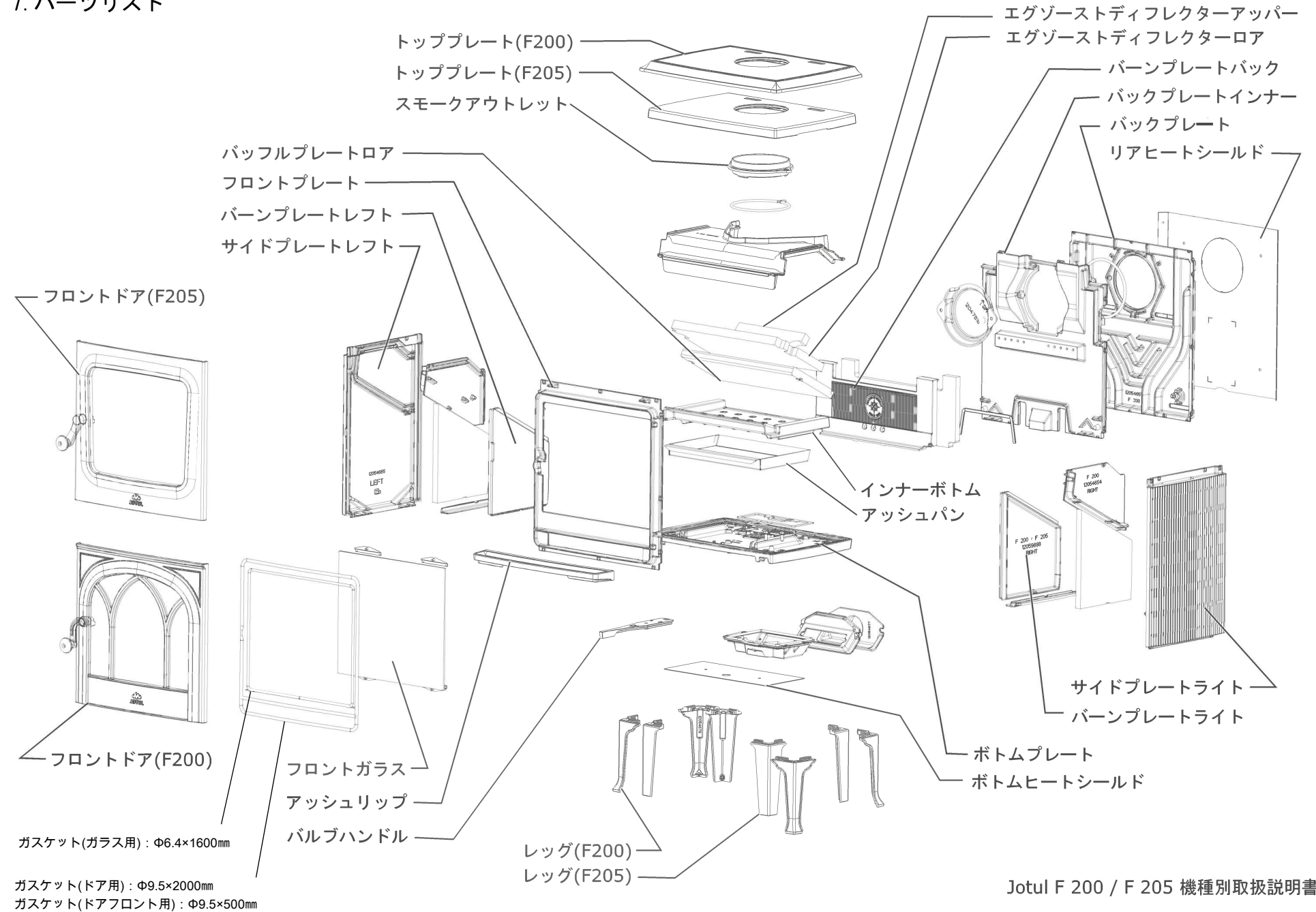
5、バーンプレートサイド（左右）をドライバー等で持上げて手前に引き出し外します



6、バーンプレートバックを手前に引き出し外します



7. パーツリスト





「ヨツール・クオリティー・システム」は、正規のヨツール・ディーラーでご購入された製品だけがサービスの対象です。製品には、ご購入時に保証書と一緒にコーションラベルが貼付または同梱されていますので、必ずご確認ください。※ヨツール本社の保証規定に従い、正規輸入品のみの保証とさせていただきます。

ヨツール日本総代理店



株式会社 メイク

東京ショールーム

〒101-0043 東京都千代田区神田富山町 5-1 神田ビジネスキューブ1F
TEL_03-6418-4822

つくばショールーム

〒300-0847 茨城県土浦市卸町 2-5-25
TEL_029-841-5147 FAX_029-843-8421